

統合自然科学科 第4学期 電磁気学 (担当: 鳥井) レポート問題4

出題: 10月30日 締切: 11月6日授業開始前

1. ファインマン物理学 (英語版では [Vol. II, Chap. 27-4](#)) で紹介されているテクニックを用いて、以下のベクトルの微分公式を導出せよ。

$$(1) \nabla \phi \psi = \psi \nabla \phi + \phi \nabla \psi$$

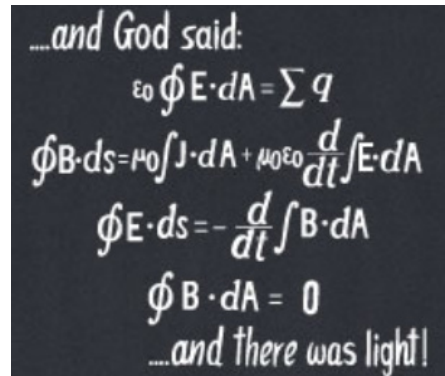
$$(2) \nabla \cdot (\phi \mathbf{A}) = (\nabla \phi) \cdot \mathbf{A} + \phi (\nabla \cdot \mathbf{A})$$

$$(3) \nabla \times (\phi \mathbf{A}) = (\nabla \phi) \times \mathbf{A} + \phi (\nabla \times \mathbf{A})$$

$$(4) \nabla \cdot (\mathbf{A} \times \mathbf{B}) = \mathbf{B} \cdot (\nabla \times \mathbf{A}) - \mathbf{A} \cdot (\nabla \times \mathbf{B})$$

$$(5) \nabla \times (\mathbf{A} \times \mathbf{B}) = (\mathbf{B} \cdot \nabla) \mathbf{A} - (\nabla \cdot \mathbf{A}) \mathbf{B} + (\nabla \cdot \mathbf{B}) \mathbf{A} - (\mathbf{A} \cdot \nabla) \mathbf{B}$$

2. MIT の COOP (生協) で売っていた T シャツには右のように4つのマクスウェル方程式が積分形で書かれている。T シャツの式中の  $d\mathbf{A}$  は講義で  $d\mathbf{S}$  と表してきた面素ベクトルの意味である。また  $ds$  は講義で  $d\mathbf{r}$  と表してきた微小変位ベクトルの意味である。各記号がベクトルなのかスカラーなのかは明確に区別しなければならない。その意味で、この T シャツの式はあまり正確ではない。微小変位を  $d\mathbf{r}$ 、面素ベクトルを  $d\mathbf{S}$  として、



“正確な”マクスウェル方程式の積分形をすべて書き下せ。ただし、電荷の和は電荷密度  $\rho$  を用いて表現し、電流密度には記号  $\mathbf{j}$  (小文字の  $j$  の太字) を用いよ。

3. マクスウェル方程式の微分形 (左) が積分形と同値であることは、ガウスの定理やストークスの定理を用いて容易に証明できる。微分形のマクスウェル方程式のうち1つ (もしくは4つ全て) を選び、積分形と同値であることを実際に証明せよ。

マクスウェル方程式 (微分系)

$$\epsilon_0 \nabla \cdot \mathbf{E} = \rho$$

$$\nabla \times \mathbf{E} = -\frac{\partial \mathbf{B}}{\partial t}$$

$$\nabla \cdot \mathbf{B} = 0$$

$$\nabla \times \mathbf{B} = \mu_0 \left( \mathbf{j} + \epsilon_0 \frac{\partial \mathbf{E}}{\partial t} \right)$$

4.  $\epsilon_0 \frac{\partial \mathbf{E}}{\partial t}$  は変位電流密度と呼ばれ、マクスウェルによって

1865年に導入された。さて、面積  $S$ 、間隔  $d$  の平行平板

コンデンサに電流  $I$  が流れ込んでいるとする。このとき、コンデンサ内の変位電流 (変位電流密度の大きさに面積  $S$  をかけたもの) が電流  $I$  に等しいことを証明せよ。

5. (参考課題) レビ・チビタ (Levi-Civita) 記号を用いると、デカルト座標の基底ベクトル間の関係を  $\mathbf{e}_i \times \mathbf{e}_j = \epsilon_{ijk} \mathbf{e}_k$  と表すことができる (1, 2, 3 はそれぞれ  $x, y, z$  を意味する)。以下のベクトル公式をレビ・チビタ記号の性質を利用して証明せよ (必要に応じて公式  $\epsilon_{ijk} \epsilon_{lmk} = \delta_{il} \delta_{jm} - \delta_{im} \delta_{jl}$  を用いよ)。

$$\mathbf{A} \cdot (\mathbf{B} \times \mathbf{C}) = \mathbf{C} \cdot (\mathbf{A} \times \mathbf{B}) = \mathbf{B} \cdot (\mathbf{C} \times \mathbf{A})$$

$$\mathbf{A} \times (\mathbf{B} \times \mathbf{C}) = (\mathbf{A} \cdot \mathbf{C}) \mathbf{B} - (\mathbf{A} \cdot \mathbf{B}) \mathbf{C}$$